

2018年度

基金決算および業務概況のお知らせ

7月22日に開催されました第5回代議員会において、当基金の2018年度の決算および財政検証結果が承認されましたので、その概要をお知らせいたします。今回の決算は確定給付企業年金としての初回決算で、対象期間は2017年11月～2019年3月までの17ヵ月となります。



年金経理

年金の給付や掛金の受け入れ、年金資産の管理運用などを行う経理です。

収支状況

(損益計算書・経常収支)

基金の主な収入源である掛金、支出である年金・一時金の支払いのほか、年金資産の運用損益などの収支を明らかにしています。

費用			収益		
給付費	年金や一時金を給付した額。	5億1,924万円	掛金等収入	事業主からの掛金。	7億2,040万円
運用報酬等	信託銀行や生命保険会社など運用機関に支払った運用手数料。	4,578万円	運用収益	年金資産を信託銀行や生命保険会社などの運用機関で運用して得た収益。	2,469万円
業務委託費	運用機関に委託している年金の支払いなどの業務の委託手数料。	4,099万円	初回のため発生する責任準備金増加額など(費用)31億9,472万円と、別途積立金取崩額(収益)30億8,113万円を計上することで、損益計算書全体のバランスをとります。		
移換金	基金から企業年金連合会などへ移換した中途脱退者の年金原資。	1,098万円			
その他	運用損失など。	1,451万円			
合計		6億3,150万円	合計		7億4,509万円

資産と負債のバランス

(貸借対照表)

年度末において、実際に保有する年金資産と、将来の年金給付のために積み立てておくべき資産(責任準備金)を比較し、基金財政が健全に推移しているかをチェックします。

資産勘定			負債勘定		
年金資産(固定資産)	年金給付のために積み立て、運用を行っている年金資産。	60億7,144万円	責任準備金	給付を賄うために、現時点で積み立てていなければならない積立金の必要額。	31億9,391万円
流動資産	現金や普通預金などと、当年度分の掛金収入などで、入金が翌年度になる分。	1億7,073万円	支払備金	年金や一時金のうち、未払いとなっている分。	5,967万円
			剰余金・別途積立金	初回のため、別途積立金60億6,972万円と当年度不足金30億8,113万円を相殺しています。	29億8,859万円
合計		62億4,217万円	合計		62億4,217万円

業務経理

基金を運営するための経費を処理する会計です。

業務会計 (損益計算書)

基金の運営にあたっては、各種費用の見直しを行い経費削減に努めました。

費用			収益		
事務費	業務運営に要した費用。	6,898万円	掛金収入	事業主からの掛金。	1億4,428万円
代議員会費	代議員会に要した費用。	122万円	その他		7万円
繰入金	福祉事業会計へ繰り入れた額。	948万円			
その他		173万円			
合計		8,141万円	合計		1億4,435万円

福祉事業会計 (損益計算書)

福祉給付金の支給や基金制度の広報などを行います。

費用			収益		
事務費	広報誌発行などの費用。	412万円	受入金	業務会計からの受入金。	948万円
福祉事業費	各種給付金支払いの費用。	526万円			
その他		10万円			
合計		948万円	合計		948万円

業務概況

基金の業務概況をお知らせするものです。ホームページにも掲載しています。

1 制度の概要について

(2019年3月31日現在)

給付の設計

加入者期間	支給要件		給付種類	給付の内容	支給時期
	年齢	事由			
3年以上 10年未満	—	退職	脱退一時金	一時金	即時
		死亡	遺族給付金		即時
10年以上	60歳未満	退職	脱退一時金	一時金	即時
			老齢給付金	確定年金（または一時金）	60歳（繰り下げ後65歳）
	60歳以上 65歳未満	退職	老齢給付金	一時金	即時
				確定年金（または一時金）	即時（繰り下げ後65歳）
	65歳	退職	老齢給付金	確定年金（または一時金）	即時
65歳超	退職	老齢給付金	確定年金（または一時金）	繰り下げ後退職時	
—	—	死亡	遺族給付金	一時金	即時

モデル給付額

22歳新規加入(加入者期間、給付期間とも、想定利回り2.0%の場合)

(単位：円)

給付の種類	加入者期間	年金給付額(60歳支給開始)				一時金(退職時)
		5年確定(年額)	10年確定(年額)	15年確定(年額)	20年確定(年額)	
脱退一時金	5年					242,500
老齢給付金	10年	102,200	53,600	37,500	29,500	481,400
	15年	160,500	84,200	58,900	46,300	756,200
	20年	226,900	119,100	83,300	65,400	1,069,100
	30年	386,300	202,700	141,700	111,400	1,820,500
	38年	542,200	284,500	198,900	156,300	2,555,500

2 2019年3月期(2017年11月～2019年3月)決算状況について (2019年3月31日現在)

加入者数

加入者(人)	10,756
--------	--------

給付の状況

		件数	金額(円)
老齢給付	年金	2,342	57,526,747
	一時金	4,892	226,539,800
脱退一時金		673	101,188,600
遺族給付	一時金	10	5,024,800

年金受給者数

老齢給付(人)	2,342
---------	-------

掛金の徴収状況(納付時期：毎月月末)

(単位：円)

種類	規約上掛金率	納付決定額①	納付済額	不納欠損額	未納額②*	②/①
標準掛金	1.4%	644,192,952	605,218,744	0	38,974,208	6.1%
特別掛金	0.1%	76,881,546	74,097,674	0	2,783,872	3.6%
事務費掛金	0.3%	144,516,498	136,164,882	0	8,351,616	5.8%
合計	1.8%	865,590,996	815,481,300	0	50,109,696	5.8%

* 3月末日が休日のため4月1日に引き落としになります。



3 年金給付等積立金の積立概況

(2019年3月31日現在)

貸借対照表 (基本金処理後)

(単位：千円)

資産勘定		負債勘定	
純資産額	6,182,501	責任準備金	3,193,914
		別途積立金	2,988,587
合計	6,182,501	合計	6,182,501



4 財政の検証状況について

(2019年3月31日現在)

(1) 継続基準の財政検証

企業年金の財政運営を継続するうえで年金資産が計画どおり積み立てられているかを検証します。

(2) 非継続基準の財政検証

制度を終了すると仮定した場合に、加入者および受給権者等に対して保全すべき給付を支給するために必要な年金資産が確保されているかを検証します。

(3) 積立超過の財政検証

企業にとって損金算入される掛金を必要以上に払い込み続けるのは税務上問題があるため、年金資産額が積立上限額を超えていないかを検証します。

(単位：千円)

区分	当基金の水準	基準値	判定
継続基準	$\frac{\text{純資産額}}{\text{責任準備金}} = 1.93$	1.00以上	○
非継続基準	$\frac{\text{純資産額}}{\text{最低積立基準額 (844,731)}} = 7.31$	1.00以上	○
積立超過	$\text{数理上資産額 (6,182,501)} \leq \text{積立上限額 (8,691,273)}$		○

それぞれにおいて基準を上回っているため、掛金見直しの必要はありません。

5 年金給付等積立金の運用の概況

(2019年3月31日現在)

2019年3月期(2017年11月～2019年3月)の運用利回りは▲0.11%となり、運用収益は▲7百万円となりました。

運用収益または運用損失

(単位：百万円)

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
運用収益・損失額	▲7				
利回り	▲0.11%				

資産別残高および資産構成割合

(単位：百万円)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	オルタナティブ	一般勘定	合計
時価総額	312	1,175	933	890	95	2,011	657	6,071
構成割合	5.1%	19.3%	15.4%	14.7%	1.6%	33.1%	10.8%	100.0%
備考	受託機関：三菱 UFJ 信託銀行、三井住友信託銀行、みずほ信託銀行、りそな銀行、第一生命保険							

政策アセットミックス

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	短期資産	オルタナティブ	一般勘定	資産合計
構成割合	10.0%	15.0%	10.0%	15.0%	2.0%	38.0%	10.0%	100.0%

6 運用の基本方針について

(2019年3月31日現在)

鹿児島県病院企業年金基金では次の方針に基づいて積立金を運用しています。

運用の基本方針 (概要)	
目的	当基金の年金給付および一時金の支払いを将来にわたり確実にを行ううえで必要とされる積立金を確保するために、運用収益を長期的に確保することを目的としています。
目標	将来にわたって健全な年金制度運営を維持するために必要な年金財政上の予定利率を目標とし、これを長期的に上回ることとしています。
資産構成	運用目標を達成するため、運用資産の期待収益率、リスク、相関係数等を考慮し、長期的観点から政策的資産構成割合 (政策アセットミックス) を定めています。
年金資産管理運用委員会	リスク管理状況、運用受託機関の選定および評価、運用業務に係る遵守事項等をチェックする目的で、年4回開催しています。議事内容については開催の都度ホームページに委員会資料を掲載しています。

基金のホームページを一度のぞいてみてください。

閲覧範囲を会員の皆さまに限定しているページへのログインに必要なユーザー名、パスワードです。

ユーザー名	usrkkikin	パスワード	bikikn2288
-------	-----------	-------	------------

最新の「基金規約」や「年金資産の運用に関する基本方針」、毎月の「資産運用状況」「給付状況」、代議員会資料等を掲載しています。お気軽にご利用ください。